

刊夕日六月四

常磐每日新聞

定額一冊金五錢 五冊金二圓
廣告料五錢 十二字一行情五錢
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社

宗教とは求道なり

真繼 雲 山

窓下に並べた同じ盆栽でもタツタ一夏かざりて無残に枯れてゆく草花もあれば一應は葉も散り枯れたやうに見えても、春が来ればまたムクムクと芽を吹くのもある雪にもめげず、緑りを失はぬ寒椿や蘭、さては竹葉の如きもある。同じ草木でありながら生死榮落とリく異なるは因縁によるのである。折角丹精して育て、よがしに捨ておいても片隅で平氣に生長してゆくのもあるなど、いよゝ以て因縁の所生なるを知る。さてそれを載せてある鉢そのものは生きるといふことがないから枯れるといふことがない、謂はゆる不生不滅である。

人間の心はもと一法身如來と同じ佛性徳相を具してゐるのであるが、肉身を保つ一生の間に首尾よく成佛といふ實を結ぶのもあれば、折かく人間の形をして生れて来て居りながら貪慾や性慾、名譽慾くらゐなものに引きづられる外に何の芽生へもなくして醉生夢死するものもある。植木に光りと水とを與へぬなら大方は枯れて仕舞うやうに、人間も

教ゆる人なく捨ておけば大底は醉生夢死するが、一たび縁に觸れ教へを受けるなら、高く佛界にまでも登り得るといふのは、矢張り縁の然らしむるところでありもと一佛性といふ因を本具とするからである、佛種

ノート

いびきを するクセの子供に は寝る前に必ず含嗽をさせ鼻もよくかませる、鼻に病氣があるといひきが 出る

尊むべく、佛縁の更らに大切な所以はここに在る。左れば古來の祖師高僧方はさまざまに苦心して、その佛種につなかり、佛縁を結んで下された。その内でも弘法大師の『十住心論』と

二明日の献立二
【朝】すまし汁—せんきくらげ 油揚
【晝】田樂—豆腐 木の芽 田樂
【晚】酔のもの—鯛ぬた うど 味噌

法大師は人間の心だけを十に見られたのである。その第一は羊のやうに貪慾と性慾とだけでウロウロする位。第二は他人の難儀を多少でも救ひたいといふ位、これが人間の一年生である。第三は不安な下界の生死が恐ろしくなつて天に昇らうとする心もち。第四は悟り始めて見ると、この肉身は五蘊の假りに和合したものであつて、別に常一主宰の我れなるものなしとして、無我を悟る位。第五は我れといふものが無いばかりでなく、法といふも亦た無しと知る位。第六はさういふことを自分だけ悟つてみても始まらぬから、他人をも悟らせ進ぜねばならぬといひ位。この邊が正覺の入口である。さて第七は煩惱はあるが心は本來、生滅のないものだとして永遠の不生不滅を知る位。第八は我が心これ真如と観するとき直きに我れ即佛と知る位。第九は顯教の極意は全く自性なし、無性即佛性と知る位。さていよゝ最後の第十は、人間的な一切の思慮分別をはなれたるところが秘密莊嚴の佛の世界だといふのである。この十住心論を學問とすれば大きな本になるが一口にいつてしまへば先づこんな話で

ある。然らば私たちは如何に修行すれば、何の日に果たして秘密莊嚴の佛界にいたり得るぞといふに、金や名譽の慾に生きて人間的な思惑に没頭してゐる間は滅多に佛様に成れさうな見當は附かぬ。佛に成れぬなら佛道修行も詮なきかといふに、佛に成らうと修行する十の階段そのもの、その求道の生活そのものに宗教の生命はあるので、佛に成つてしまへば宗教は無用の世界となる。益裁が完成してしまへば既に前途なく、前途なくば生命なし。益裁を完成させやうとする努力の道程に主人公の生命があり、益裁自体の生命價値があるのである (完)

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める

川崎巡回文庫 電六三〇番 申込次第(規則書進呈)

専門 産婦人科 花柳病科

井坂醫院 平町田町 電話五五九番

肉蒲鉾 田町 三三三屋

新形提灯賣出し 櫻の節も愈々近づきました 店頭...店內...の裝飾に

最新形の提灯を御利用下さい 電話九百五番

スガノヤ提灯店

旭硝子株式會社製品 板ガラス 硝子 壺 硝子 食器 其他各種

松崎硝子製作所 平町新川町(電話一四二番) 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

共濟病院案内 院長 醫學博士 石山謙 院址 石山 自宅(電話二四四番)

内兒科 醫學博士 石山謙
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 佐久間重
喉科皮膚科 醫學士 有馬勇二
産婦人科 醫學士 五十嵐雄
X光線科 醫學博士 佐久間重
衛生試驗所 技師 石山謙
藥局 技師 石山謙
診療時刻午前八時より午後五時迄 但急患は此の限りに非ず

平町 磐城共濟會 電話六四一番

町村會選舉

郡内のトツプ

江名町當選者

三八 作山 喜作

大浦販米高値

石城 販賣利用組合大浦農業倉庫の共同米は昨五日行はれ出品數百五十二俵を入札せる結果四等建値八圓二十七錢を以て平町の青木要治郎氏に落札したが前回に比較して十錢の高値を見た

木炭同業組合が大童の滞納整理

生産検査の縣移管を二ヶ月後に控へた濱三郡木炭同業組合では職員に對する賞與金贈與その他支出金多額を要する爲め目下検査料及び賦課金の滞納整理を急いで居るが年額僅か一圓の賦課金を三年乃至五年も滞納して居る組合員が數十名に上る

農事傳習延期

石城 郡神谷村農事試驗分場では毎月舊曆十五日に特別農事傳習會を開會したが本月は年度變りで繁忙の爲め舊廿七日頃に延期すると

縣下總會

青年團準備 平町青年團及び女子青年團にては本日午後三時より藤田女學校に於て幹部會を開き来る二十五日平町に於て開催される縣下聯合青年團春季總會の準備其他歡迎方法等に就いて協議した

農民の血涙史 (12)

鮫川堰を踏査し 往時を想起

水利權を中心として鮫川水力會社と連る惡縁が斷たれた江筋組合には新興の氣運が漲り溢れた、

江筋復活の設計に基いてその事業費卅六萬九千六百圓と云ふ膨大な數額

背囊と巻ゲートル

平商が六月から實施する

平商業學校にては今學期より背囊を使用する事になり来る六月より實施するが足には常に茶色の巻ゲートルを着用せしむると

鹿兒島へ

代表村長

一兩日中出發

石城町村長支會では来る十六、七の兩日鹿兒島市に於いて開催される全國町村長會總會の出席者を左記四村長に決定一兩日中に出發する豫定である

平映畫界

平館 松竹蒲田現代劇田中絹代 水久保澄子主演

「輝く日本の女性」パラマ成の曉は植田、小名濱、上遠野、渡邊、玉川、泉の三町四ヶ村に満々たる水を給し約八百町歩の水田を濡らす事になつて居る、五ヶ年後決して遠い事ではない、幾度か此の江筋の爲めに

血涙を流した郡南幾萬の農民は通水の日を待望して、今や更生の意氣に燃え、玉なす汗に田を耕して

第七期決算報告

(自昭和七年三月至昭和八年二月)

貸借對照表

借方	貸方
金銀勘定	五〇、三
當座預金	二、三五四
振替貯金	四三、三
得意先勘定	一、八四三、六
商品勘定	三、三、五
土地建物什器	四、六〇、五
諸貸付金勘定	四、六〇、五
有價證券	七三、〇七
假拂金勘定	一、八三、八二
機械器具	八〇、〇〇
保證金	一、五〇、〇六
合計	一、〇〇、〇〇
貸方	借方
預り保證金	一、〇〇、〇〇
仕入先勘定	二、七、四一、八
商品切手	一、七、〇〇
店員預金	一、五、四、六
假受金勘定	一、〇〇、〇〇
資本金	一、〇〇、〇〇
法定積立金	一、〇〇、〇〇
別途積立金	一、〇〇、〇〇
前期繰越金	一、〇〇、〇〇
合計	一、〇〇、〇〇

飛行機型

不二の新型

福島モーター商會平出張所にては此の程タクシー界に於ける先驅者の誇りとする一九三三年型新シボレスベツシヤールセダンを白銀町不二タクシーに納めたが該車は一名飛行機型と言ひ飛行機の如く快捷する外獨特の設備等總べて新型だけに市内に於て大好評を博して居る

平百面鏡

「天狗廻状」

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電一〇七

電話簿廣告

受付を開始

平郵便局に於ては五月一日現在より發行せらるる電話番號簿へ廣告掲載の申込

大和田醫院

御待兼の世界的ヨロヨロが出來ました各特約流行玩具の玉様

◎安價 一個五錢 十錢 二十錢

當工場製品にはヨロヨロの遊び方説明書進呈致します

募集廣告 一、挽物製作徒弟 一名

右ハ本年尋常又ハ高等卒業ノ事身體健固ニシテ意志強固ナル者

右希望者ハ自筆履歷書ニ學業成績表ヲ添へ至急御申込ヲ乞フ

各種挽物 丸盆類 木製教育玩具製作 佐藤挽物製作所

家具附屬品一式 平町十五丁目三十番地 電話(ヤマ)又ハ(カノ)

特約店 いづみや玩具店 森下玩具店 立花屋商店

行衛不明の夫人

漂然と裁判所へ

石川縣議の離婚訴訟に

何等か對抗か

石城郡湯本町吹谷九十七番地縣會議員石川德壽氏がヤス子夫人を相手取り平支部に家出を理由として離婚請求の訴を提起し去る一日請求通り離婚の判決あつた事は既報の如くであるが訴訟面に依れば行衛不明で生死の程さへ知れない筈のヤス子夫人が本日漂然と平支部に姿を現し右判決謄本の下附申請をなし何處へとも知れず立去つたので何等か離婚に對し對抗手段を巡らすのではないかと噂さ専らである

鮫川江の起工式

来る十六日と決定

既報鮫川江筋の改修工事起工式は準備中の處来る十六日午前十時より上遠野村字根岸地内舊取入口に於いて赤木知事臨席のもとに盛大な地鎮祭並に起工式を左記順にて舉行する

△一同着席△始式の旨を告(耕地課長)△知事式辭△水利組合管理者祝辭△來賓祝辭△終式の旨を告(耕地課長)

飯野農會協議 石城郡飯野村農會では九日午前十時より村役場に於いて幹部會を開き本年度事業の計畫及び優良町村農家視察員派遣等を協議する

田人消防小頭 石城郡田人村消防組小頭大平良藏及び村田碧の兩氏は此程辭任し後任は澤田万治、蛭田春男の兩氏決定

川崎本社長

童話放送

本日午後二時 半仙臺放送局より川崎本社長に童話放送方依頼の電報あり直ちに承諾の旨返電したが放送日時は来る十三日午後六時からである

醬油品評

寄々準備中

醬油醬油醸造組合では来る十六七の兩日平稅務署樓上

消防役員大會

永年勤績者表彰

既報平署管内消防組役員大會は来る八日渡警察部長臨席のもとに平署會議室にて盛大に舉行されるが當日永年勤績者として表彰されるのは左記四氏と決定した

- 鈴木サケ 田名網キミ
- 三ノ四有坂敏子 四ノ一山本マサ 佐藤品 四ノ二森英子 渥美和子 四ノ三佐藤シヅエ 鶴沼

日を覺せばマル裸

商用の宿屋で盗難

平町田町五十嵐吉次(四)細沼與助(三)の兩名は去る三日商用で郡山市大町和久屋旅館に投宿熟睡中何者かに忍込まれて現金三百圓と金側時計及び着用の衣類迄奪取されて其筋へ届出た

職は男八十四名、女三十名計百十四名でうち就職したのは男卅一名、女十四名合計四十五名で前月に比較すると小學校卒業期の事として求人五十五名、求職三十七名の増加を見昨年同期に比較すると求人十名、求職七十四名の減數を見た

平職業の紹介成績

紹介成績

平職業紹介所去月中の成績は求人男が九十九名、女二十四名、計百二十四名、求

△四丁目谷田部正弘君は三月二日四丁目地内で一圓七十五錢在中の茶色褌口を△

明日のラジオ
七
今夜も明日も北東の風晴曇半す

今晚の部

- 後六〇〇(子供の時間) 童話 宮下晴子 宮下禮子 ビアノ伴奏 深澤一郎
- 後六二五 講演 時局特別講演 大阪商工會議所理事法學博士 高柳松一郎
- 花と愛國の夕(第六夜)

明日の部

- 後八〇〇 獨唱歌野綾子 伴奏東京ラヂオオーケストラ 指揮菅原明朗
- 後八二五 哥澤 唱哥澤 金芝 三味線哥澤芝梅
- 後八五〇 浪花節 忠僕 元助 昇川燕平
- 後九三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組

草野村大平誠藤君は七日聚樂館前で額面三圓の商品切手を△搔毬小路海老原安郎君は十五日田町地内で二圓四十四錢入革財布を△正月町難波スイ子は廿二日新川町地内で五圓五十錢入褌口を△新川町野木文平君は廿五圓町地内で百八十八圓八十錢入褌口を△田町井出正至君は廿八日田町にて一圓十錢入財布を△搔毬小路小林長治君は四月三日田町通りで五圓五錢入褌口を拾得此程平署に届出た

- 後〇〇五 管絃樂 コロナオケケストラ
- 後〇二〇 俚語
- 後二〇〇 婦人講座「春と詩」白鳥省吾
- 後六〇〇(子供の時間) お話「菊地武光」志水三郎
- 後六二五 講演
- 後七三〇 時局特別講演 後八〇〇「花と愛國の夕」(第七夜)新内
- 後八三〇 ラヂオ風景 「花の博物館めぐり」園城寺清臣作
- 後九五〇 日本棋院春季大手合戦績

裁判所だより

石城郡川部村大字小川字松ノ下百六十六番地農田子弟男(〇)は無免許にて去月三日田人村大字旅人地内の山林に於て村田銃を使用し山鳥を狩獵し狩獵法違反として罰金二十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

- △漁業難夫 二十四才 高卒 給料面談(赤井村某)
- △炊事婦 二十八才 尋一修 給料面談(平町某)

平町人事

- △回死 亡
- △白銀町五 猪狩兵吾氏三男秀男
- △舊城跡四 蛭田義光氏長女禮子
- △回生
- △大町一 吉田アサ(二つ)

幕末剣術

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫
佐々木 見山

第三百八號

仲間を供にして

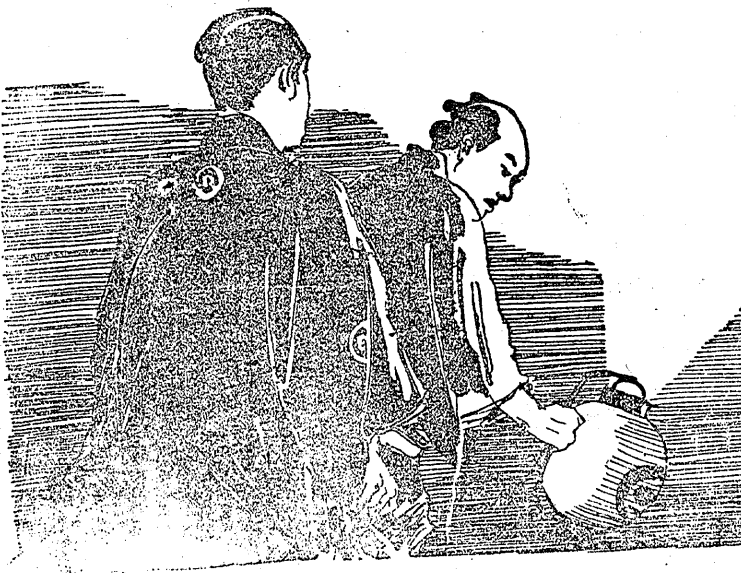
佐々木寅之助見山が芝庭
治郎右門の許で鞠に小柄を
打つて手練の程を見せた
兩の手から電光がほとばし
る様實に見事な物です、治
郎右衛門は敬服した

佐「これらは小兒の慰みで
武士たる者が此の様な事が
出来ればとて自慢いたすは
恥入つたことだ」
と笑つてゐる、洵に奥ゆ
かしい

治「恐れ入りました、此の
小柄を飛ばすことを俗に手
裏剣と申しますが一體何人
が工夫した物でございませ
うか」

佐「左様、寛永の頃大阪の
生玉に毛利玄達と申す者が
居つたこれが手裏剣の名人
でな、大分門人もあつた、
元玄達は材木を商ふ者の俸
であつたが七歳の時に縁か
ら落ちて足を痛め、ちんば
になつた、其れ以來彼は外
出いたすこともならぬ故庭
に米を撒いて雀を寄せそれ
を見ては心を慰め居つたが
其後石を取つて雀に打付け
暇間にあかして其の様な悪
戯をいたして居つたが、果
ては小柄を投げて雀を貫
事も出来得る様になつた

此の玄達が先づ手裏剣を打
つ其の祖人である」
治「左様でございませうか、
これから先生について此術
を學びたく存じます」
佐「望みとあらば御指南も
致すが此の様なことは劍術



にさへ達しなば自然と其の
妙を會得いたす」
と笑つて居ました、名人
は恐ろしいもので劍法の達
人故其の劍術の理を以つて
憐れ云ふ技も出来る、一つ
以てこれを貫すとはこんな
事でもありませうか
佐「イヤ、今日は以外な

待遇に與り忝なう存する」
治「お歸りでございませうか
これから番町までお戻りな
さるは御大儀でございませ
う」
佐「イヤ、赤羽根の有馬侯
のお屋敷に參り御家老の吉
田織部殿方に一泊いたす」
治「左様でございませうか、
其れでは家來に申付けてお
屋敷までお供をさせること
に致しませう」

松「しかし私共は然う思ひ
ます、何しろ神佛が流行ま
すとこれ程甘い錢儲けは他
には無いさうでございませ
うと云ふは神佛は何も喰べま
せん、大層お賽錢が上つた
から今日は遊びに行くとも
云ひませぬ、また斯う云ふ
着物を買ふとも申しませぬ
酷い目に遇つた處で何んで
此んなことをすると腹を立
つ事もありませぬ、人間の
自由になつて居ます、それ
ですから神佛に人氣がある
と人間は大した金儲けをす
る、淺草田圃の太郎稻荷な
ぞは今の流行神でございま
す、吉原や柳橋の藝者がお
詣りに出かけます、又其
の藝者の朝詣り見ようと
云つて參詣人が押出します
斯うなると人間が人間を呼
びます、太郎様の御神體は
狐ださうでございませぬ、
人間が狐から御利益を受け
られるとは不思議でござい
ませぬ、鰯の頭も信心から
と申しまして御利益がある
と思つて祈ればきつと福が
授かるさうでございませぬ、
先生足許をお氣を付けなさ
い、此處は道普請をして
ゐますから足場が悪うござ

た、夜の四つ過ぎ芝口の伊
達家の長家を出た佐々木見
山、先に立つたは芝庭の仲
間松藏、手丸の提灯にて道
をてらし
松「先生有馬様のお屋敷へ
お歸りになりますか」
佐「然うだ、有馬の御家老
の許に參る」

いますよ、ねえ先生、芝は
左の横丁を見ると大きな井
戸が一つ宛あります、初め
て江戸へ出て来た田舎者は
これを見てびつくりしたさ
うですが、段々考へて見る
とそれは井戸ではない海が
見えるんで横丁にあるから
イヤ大笑ひでございませぬ

松「しかし私共は然う思ひ
ます、何しろ神佛が流行ま
すとこれ程甘い錢儲けは他
には無いさうでございませ
うと云ふは神佛は何も喰べま
せん、大層お賽錢が上つた
から今日は遊びに行くとも
云ひませぬ、また斯う云ふ
着物を買ふとも申しませぬ
酷い目に遇つた處で何んで
此んなことをすると腹を立
つ事もありませぬ、人間の
自由になつて居ます、それ
ですから神佛に人氣がある
と人間は大した金儲けをす
る、淺草田圃の太郎稻荷な
ぞは今の流行神でございま
す、吉原や柳橋の藝者がお
詣りに出かけます、又其
の藝者の朝詣り見ようと
云つて參詣人が押出します
斯うなると人間が人間を呼
びます、太郎様の御神體は
狐ださうでございませぬ、
人間が狐から御利益を受け
られるとは不思議でござい
ませぬ、鰯の頭も信心から
と申しまして御利益がある
と思つて祈ればきつと福が
授かるさうでございませぬ、
先生足許をお氣を付けなさ
い、此處は道普請をして
ゐますから足場が悪うござ

松「先生有馬様のお屋敷へ
お歸りになりますか」
佐「然うだ、有馬の御家老
の許に參る」

三井タシク

目丁二町平
番五八六話電

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前 家傳
靈効散(無効返)

平新川町十九
外産婦人科 木村病院
電話一六四番

平新川町十九
外産婦人科 木村病院
電話一六四番

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前 家傳
靈効散(無効返)

平新川町十九
外産婦人科 木村病院
電話一六四番

平新川町十九
外産婦人科 木村病院
電話一六四番

お醤油は ヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町(電話營業部二階工場三三)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎